



## 流産してしまいました。 いったいどうして？

妊娠初期の流産、  
 とてもつらいことでしょう。

でも流産の原因はあなたでは  
 ありません。

それはすべての妊娠の8～15%という  
 比較的大きな確率で  
 自然に起こってしまうこと。

決してご自身を責めたりしないでください。

マタネ...

流産ってどうやって処置するの？

子宮の中から赤ちゃんを完全に出し、リセットします

具体的な方法は？

- 流産手術を行って、妊卵と胎盤を出す
- 待機して自然な排出を待つ

この2つ  
です

ほとんどの原因は赤ちゃん側に。  
お母さんのせいではありません！

- 自然流産は全妊娠の8～15%くらいの割合で起こる、比較的多い症例です。妊娠12週までの流産を「早期流産」、妊娠12週以降22週未満の流産を「後期流産」といい、ほとんどが妊娠12週までの早期流産です。
- この時期の流産の50～60%は妊卵の異常（染色体の病気）といわれていて、現在の医療では治療することができません。つまり赤ちゃん側に原因があり、お母さんの日常生活などに起因するものではありません。
- 流産は子宮の中身が完全に排出されている「完全流産」の場合と、一部が子宮内に残留している「不完全流産」場合があります。「不完全流産」の場合、流産手術を行って妊卵と胎盤を取り出すか、自然に排出されるのを待つかを検討することになります。



## 流産したら手術を しなくてはいけないの？

どっちがいいの？

**流産手術** と **待機** の違いって？

妊娠中は絨毛(胎盤のもと)からHCGというホルモンが出ています  
子宮をリセットするためには、妊母と胎盤を出してホルモンと出血を止める

これは手術も待機も同じことです

手術	待機
<ul style="list-style-type: none"> <li>出血、腹痛がおさまる</li> <li>短時間で終わる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然に流産が終わる(何もしない)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>麻酔や器具を使うことで母体にリスクがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>突然の出血や腹痛</li> <li>緊急入院・手術率が高い</li> </ul>

当センターでは、急な出血などでの緊急入院、手術を避けるため、手術を行うことをお勧めしています

## 早期流産は、手術をすることも 自然な排出を待つことも可能です

- 流産手術をした場合も、しないで待機した場合でも感染症の発症率に差はなかったという研究報告があります。ただし待機の場合は、出血や腹痛による緊急入院率や、突然の流産手術が必要になる率が高いという結果もあることから、当センターでは手術を行うことをお勧めしています。
- 出血や腹痛は妊卵を取り出し、子宮がリセットされることで改善します。流産手術の目的は、出血や腹痛のリスクをなくすことと、胎盤から出るHCGというホルモンを止めることです。
- 子宮内で少しずつ出血が始まっているような場合には、手術をせずに自然な排出を待つ方法で7割くらいがうまくいくという報告もあります。その場合、希望によっては経過観察も可能ですが、突然出血や腹痛が起きることがあり、手術になる場合もあります。
- 妊娠12週～22週の後期流産の場合は、薬を使用して子宮収縮を促すことで、赤ちゃんと胎盤を排出する方法をとります。つまり外科的手術ではなく、出産と同様の方法をとることになります。